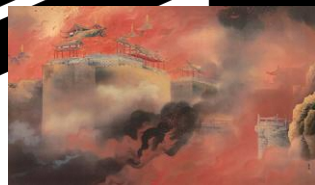




上村松園「人生の花」明治32年
京都市美術館蔵〔後期〕

木村武山「阿房劫火」明治40年
茨城県近代美術館蔵〔後期〕



尾竹国観「油断」(左隻)明治42年 東京国立近代美術館蔵〔前期〕



明治後期、
花開く日本画と
文展開設

blooming

小堀綱言「常世」明治30年
東京藝術大学蔵〔後期〕



菅原白龍

松本楓湖

野口小蘋

竹内栖鳳

梶田半古

西郷孤月

木村武山

平田松堂

村上華岳

橋本雅邦

今尾景年

小堀綱言

横山大観

邨田丹陵

結城素明

尾竹国観

神原紫峰

川端玉章

野村文挙

山田敬中

小坂芝田

上村松園

北野恒富

土田麦僊

久保田米僊

岡倉秋水

鷹田其石

池上秀畝

今村紫紅

池田蕉園

水野年方

山元春挙

菱田春草

富田溪仙

前田青邨

小林呉嶠

下村観山

鏑木清方

小林古径

川合玉堂

尾竹竹坡

橋本関雪

池田輝方



富田溪仙「鵜飼」大正元年 京都国立近代美術館蔵〔前期〕



下村観山「大原之露」明治33年
茨城県近代美術館蔵〔通期〕

2025年10月17日(金)~12月14日(日)

前期: 10月17日(金)~11月16日(日) / 後期: 11月18日(火)~12月14日(日)

※会期中、展示替えをおこないます

- 開館時間=午前9時30分~午後6時(入室は午後5時30分まで) ※初日は開会式終了後に一般オープン
- 休館日=月曜日(11月3日、24日は開館)、11月4日(火)、25日(火)
- 主催=富山県水墨美術館、北日本新聞社、チューリップテレビ

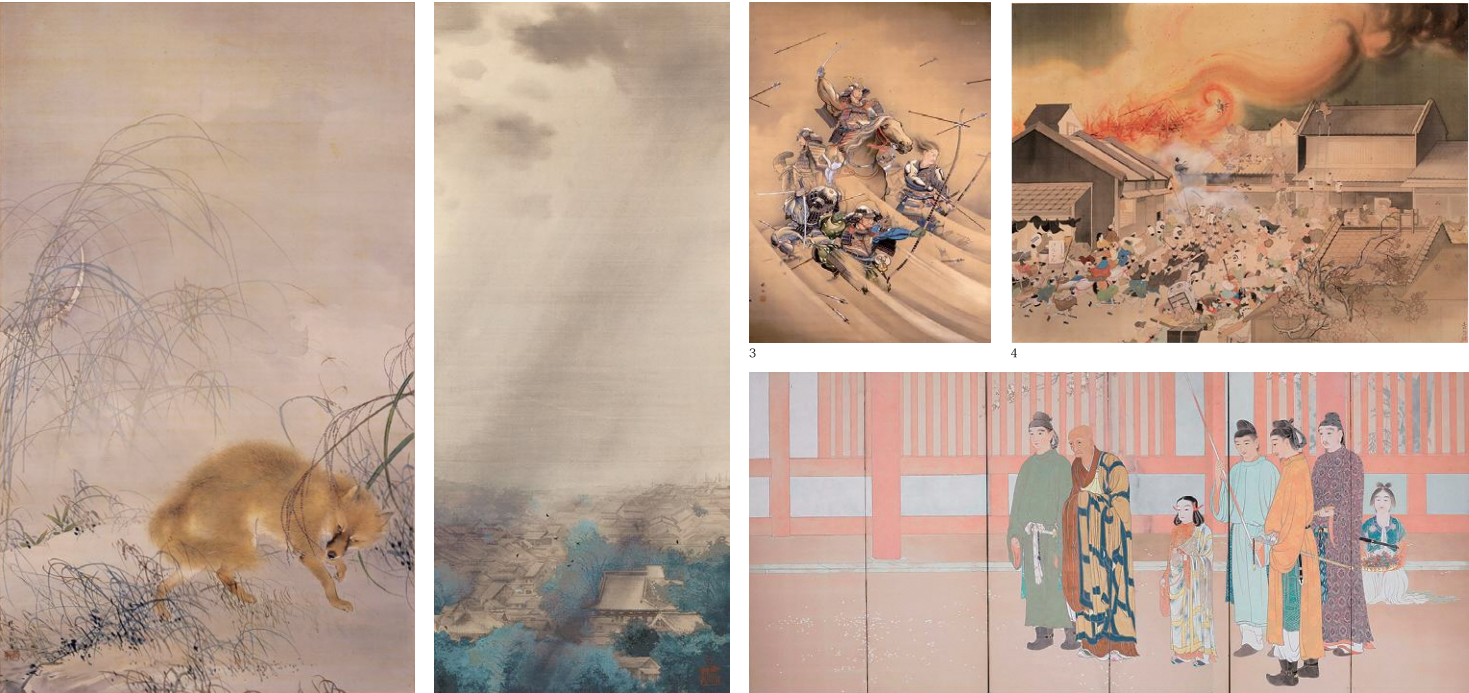
富山県水墨美術館

THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAMA

江戸期から続く諸流派の大家たちから青年画家たちへと主役が移り、「日本画」と呼ばれるものが近代に芽吹いたのは明治30年代から40年代でした。流派を超えて意欲ある若手たちが大小さまざまに集い、新たな日本の絵画を求めて切磋琢磨した多様性の中から「日本画」は鮮やかに花開いていったのです。時を同じくして開設された文部省美術展覧会（文展）は、彼らの活躍の晴れ舞台となっていきました。

本展では、文展や文展が始まる前の各展覧会で入選、入賞した作品を中心に、明治後期を彩った作家たち43名の優品をご覧ください、「日本画」の展開を見つめなおします。「墨画×革命」(令和元年度)、「南画×近代」(令和4年度)に続く、近代の日本画や水墨画の系譜をたどる水墨美術館オリジナル企画展の第3弾です。

文展とは？・・・フランスのサロン(官展)に触発されて始まった文部省主催の公募美術展で、現在の日展の前身にあたります。明治40(1907)年に第1回展が東京・上野にて開かれ、以来大正7(1918)年までの全12回、毎年秋の恒例行事として開催されました。画壇の東西や流派、老若男女を問わず、あらゆる作家たちの作品が一堂に会し、現代まで受け継がれる名品の数々が発表されました。



図版 1. 竹内栖鳳《枯野の狐》明治30年 京都国立近代美術館蔵〔後期〕 2. 横山大観《夕立》明治35年 茨城県近代美術館蔵〔通期〕 3. 岡倉秋水《矢面》明治40年 福井県立美術館蔵〔通期〕 4. 小林古径《加賀鳶》明治43年 東京国立近代美術館蔵〔前期〕 5. 尾竹竹坡《太子》(左隻) 明治44年 リードケミカル株式会社蔵〔通期〕

関連行事 ※関連行事の内容等は、変更または中止になる場合があります。 ※最新の情報は水墨美術館ウェブサイトや公式SNS等でご確認ください。	
講演会「日本画はどこから来たのか 日本画とは何か 日本画はどこへ行くのか」 10月25日(土) 午後2時～(開場 午後1時30分) 講師＝古田亮氏(東京藝術大学大学美術館教授) 会場＝映像ホール 定員＝50名(先着順) ※申込不要 ※聴講無料 ※満席になり次第、入場を制限させていただく場合があります。	当館学芸員によるギャラリートーク 11月15日(土)、12月6日(土) 各日午後2時～ 会場＝展示室1・2 ※申込不要 ※聴講無料 ※要・当日有効の本展観覧券

観覧料：一般900(700)円 大学生 450(350)円 一般前売700円
※()内は20人以上の団体料金。 ※小・中学生・高校生及びこれらに準ずる方、各種障がい者手帳をお持ちの方は観覧無料。
※大学生券に該当する人の詳細については、ウェブサイト等でご確認ください。
【前売券販売所】10月16日まで販売／富山県水墨美術館、富山県美術館、アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)
常設展示 近代水墨画の系譜 下保昭作品室 ※本企画展の観覧券でご覧いただけます。
館内施設 茶室「墨光庵」(立礼席、薄茶とお菓子) ※12月～2月は冬季休業
ミュージアムショップ「風花」 喫茶「く自家焙煎・水出し珈琲」水の時計」
交通のご案内 【富山駅南口から】●市内電車(大学前行)「トヨタモビリティ富山 Gスクエア五福前(五福末広町)」下車、徒歩約10分
●地鉄バス④乗場から10、14、16系統「五福末広町」下車、徒歩10分 / ⑦乗場から各系統「畑中」下車、徒歩10分(最新の運行は富山地方鉄道ウェブサイトにてご確認ください) ●タクシー約10分 【富山空港から】タクシー約25分
【北陸自動車道】富山IC、富山西ICから自動車約20分 【無料駐車場】乗用車165台、バス7台

富山県水墨美術館
THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAMA
〒930-0887 富山市五福777 Tel. 076-431-3719 Fax. 076-431-3720 <https://www.pref.toyama.jp/1738/>
次回企画：没後50年 堂本印象 自在なる創造 2026年2月20日(金)～

